

# よりそえ

Side by Side

2011.11.17(木)

第 124 号

編集責任 : ナカムラ

編集担当: オーブル  
ナカムラ

## 私たちの「家」へようこそ!

被災者交流会&amp;オープンハウス in 遠野まごころネット



11月13日(日)私たちがボランティアの活動拠点とさせていただいている遠野総合福祉センターにて”遠野まごころネット”オープンハウスが開催されました。

私たちが現在活動している沿岸地域の被災地の方々や、遠野の仮設住宅の方をお招きし、ボランティアが普段生活している場所、活動内容などをご紹介、その後炊出しやコンサートなどで楽しんでいただくという企画です。またメディアの方にもお越しいただき、ボランティアの数が減ってきて現実を知ってもらおうとうものもありました。

企画したのはヒゲ&ニット帽でおなじみの西岡さん。開会の挨拶のあといきなりラジオ体操!という思いもよらないスタートに、遠路バスで来てくださった釜石市・箱崎地区、大槌町、陸前高田市、大船渡市、そして遠野市の仮設住宅のみなさんもびっくり。みんなで一緒に体を動かしスッキリした後は、きりたんぽ、モツ煮、焼き鳥などのおいしい炊出しを頂き、その後はタッピングタッチやふまねっと、足湯でリラックス。午後は近隣へのお買い物へバスででかける方、クラシック演奏を楽しむ方、陶器の食器を選ぶ方、と思い思いに楽しんでいただき、最後は大槌の音楽ユニット“和美東”的演奏に大槌の徳並鹿子踊が加わり、会場は暖かい拍手に包まれました。震災以来連絡が取れなかつたご親戚同士がこの会場で会う、という思いがけない出来事もあり、参画した全ての人にとって忘れられない一日となりました。

## 初雪が降りました

15日夜から16日朝にかけて遠野に初めての雪が降りました。昼前には溶けてしましましたが、これからはいよいよ本格的な冬のはじまりです。みなさん遠野に来る時は冬支度を万全にしてくださいね!(◎製作:キャシー)

## ~遠野からの”ありがとう”~

&lt;寄稿&gt;遠野お茶っ子隊 原元さん

震の大震災後、本まに夕の水浴びに支えられたまま今まで来ています。特にまごろネットワークさんからは、数々の温かい言葉と対応を今更交わり、お見えながらしていただきます。ひとりひとりの方々に相当意識がなければ決して出来ない体験を厳しく希望へつなげています。どく皆様もお身体に気をつけ、かんぱりて下さいね。本当に感謝しております。

意外とご存知でない方も多いと思いますが、遠野にも被災者の方が住んでいる仮設ってあるんです。

仮設住宅と雇用促進住宅という所があり、どちらも釜石や大槌、陸前高田などいろいろな場所から来た被災者の方が住まわれています。

雇用促進住宅の方には、元々住まわれていた遠野の方もいらっしゃいます。そのため新しいコミュニティ作りがむずかしく、中に支援の手

もなかなか入れていない状態です。さらに自治会もまだなく、自治会長さん、さらには管理人さんもいらっしゃることから、これまでほとんど手つかずといつてよい状況でした。

そんな中10月から毎週お茶っ子に行かせて頂いています。行き始めて4、5回目ですが、先日とても嬉しいことが!お手紙とにんじんとほうれん草の手作りドーナツを住民の方から頂いたりいました!本当に、どんな高価なモノよりも、何よりも嬉しかったです。こういう一瞬があると本当に活動していてよかったです。

いつも「ありがとうございます」や「ご苦労様です」と言われるたびに涙が出るくらい嬉しいです。岩手のおじいちゃん、おばあちゃんは本当にパワフルで元気で、いつもこちらが元気を頂いています。

こんなにいつも励まされ、元気をもらってばかりで、こんなでいいのかと思うのですが、みなさんが「顔見れるだけで嬉しいのよ」と言ってくださるので、そのたびに自分のほうが嬉しいなりうるっときてしまいます。

まだまだ支援の手が足りない所、行き届かない所などがたくさんあります。風化も始まっています。被災された方はもう仮設に入つて一段落したかのように思われる方もたくさんいらっしゃいます。終わったのではなく、今からが始まりです。これからが正念場です。

